

## 主題：ヨベル

メッセージ 2

### ヨベルの意義

聖書：レビ 25:8-17, 28, 39-41. エペソ 1:13-14. 2:12. ピリピ 3:8, 4:5-7. ヨハネ 8:32, 34, 36.

詩 90:1. 16:5. 使徒 26:17-18. ルカ 4:18. コロサイ 1:13. I ヨハネ 5:19.

ローマ 6:6. 7:11, 20, 23-24. 8:1-2. ガラテヤ 5:17. 4:29. マタイ 10:25. II コリント 12:9

#### I. ヨベルに関する基本的な思想は、それが神の贖いを鳴り響かせるということですから——レビ 25:9 :

- A. 銀のラッパを吹くことは、神の贖いに基づく告知知らせ、この贖いを鳴り響かせることでした。
- B. ヨベルの告知知らせは、第七の月の十日、すなわち罪を覆う日にありました。これは、ヨベルがキリストにある神の完全な贖いに基づいていることを示します。

#### II. ヨベルの年に、二つの主要な祝福がありました。それは、あらゆる人が自分の失った所有地に戻ることと、奴隷からの解放です—— 8-17 節 :

- A. ヨベルの年に、自分の所有地、自分に割り当てられた良き地の分を売ってしまったすべての者は、それを贖うために何も払わないでそれに戻りました (10, 13, 28 節)。そして自分を奴隷状態に売ってしまったすべての者は、自分の自由を再び得て家族に戻りました (39-41 節)。
- B. 所有地に戻り、自由にされ、家族に戻ることは、新約のヨベルにおいて信者たちが、彼らの失った神聖な所有としての神に戻り、すべての束縛から解放され、彼らの神聖な家族としての召会に戻ったことを表徴します——エペソ 1:13-14. ヨハネ 8:32, 36. 参照、詩 68:5-6。

#### III. 神のヨベルは人を、人の嗣業としての神に戻します :

- A. 詩第 90 篇 1 節と詩第 16 篇 5 節によれば、神は人の所有となり、人の地また宿となることを意図しています。
- B. 神はパウロを召して異邦人の目を開かせ、暗やみから光へ、サタンの権威から神に立ち返らせ、彼らが罪の赦しと、キリストにある信仰によって聖別された人たちの間での嗣業を受けるようにしました——使徒 26:17-18。
- C. レビ第 25 章で告げられているのは、地がその本来の所有主に戻されたのではなく、人がその地に戻ったということです：
  - 1. 神がわたしたちに戻されるのではなく、わたしたちが神に戻されるのです。
  - 2. 放蕩息子のたとえがおもに語っているのは、息子が父を失ったことについてではなく、父が息子を失ったことについてです——ルカ 15:11-32。
- D. 実は、神がわたしたちを、わたしたちの所有としてのご自身に戻すのです。わたしたちが神に戻って来るのは、わたしたちをご自身に戻す神の行ないです。

#### IV. 神の救いはわたしたちに真の自由を持たせます。わたしたちの所有は神であり、わたしたちの自由は神を享受することから来ます :

- A. もし人が神を享受せず、自分の所有としての神に戻らないなら、真の自由を持つこ

とはできません。

B. 「彼が貧しい人たちに福音を宣べ伝えるように、わたしに油を塗られたからである。彼はわたしを遣わして、捕らわれ人たちには解放を、盲人たちには視力が回復されることを告げ知らせ、圧迫されている人たちを解放して去らせ」——ルカ 4:18 :

1. 自由は窮乏からの解放を意味します :

- a. 真に貧しい人は、「希望もなく、神もない者」です——エペソ 2:12。
- b. キリストから離れて、わたしたちが持つあらゆるものは犬の食物です——ピリピ 3:8。

2. 自由は盲目からの解放を意味します :

- a. 暗やみの中にいることは、サタンの権威の下にいます——コロサイ 1:13。
- b. 視力の回復は、暗やみの権威からの解放と等しいのです——使徒 26:18。

3. 自由は捕囚から救われることを意味します :

- a. 墮落した人は罪の奴隷またサタンの捕囚です——ローマ 7:14。
- b. すべての人類は、彼らの職業、性別、年齢にかかわらず、サタンの強奪と操作の下にあります——I ヨハネ 5:19。
- c. 罪は人の存在における内在的なものです。実は、罪はサタン自身です——ローマ 7:11, 20。
- d. 熱中することはサタン自身であり、人は彼の捕囚です——ヨハネ 8:34。
- e. サタンはベルゼブルとして、ふん塚の君、はえの君です——マタイ 10:25。

4. 自由は人を、あらゆる種類のしいたげから引き上げます :

- a. わたしたちは命の霊の法則によって、キリスト・イエスの中で、罪と死の法則から解放されています——ローマ 8:2。
- b. わたしたちの肢体の中の法則は、わたしたちの思いの法則に逆らって戦っており、わたしたちの肢体の中にある罪の法則の中に、わたしたちをとりこにしています——7:23。
- c. 罪の体は (6:6) 神に逆らって罪を犯すことで強く、死の体は (7:24) 神を喜ばせる事を行なうことで弱いのです。
- d. それに加えて、肉はその霊に敵対して情欲を抱き、その霊にしたがって生まれた者を迫害します——ガラテヤ 5:17. 4:29。
- e. 今やキリスト・イエスの中にある者には、良心の中に主観的な罪定めがありません——ローマ 8:1。

V. **ヨベルの生活はキリストの安息と享受にある生活、わたしたちの嗣業と真の自由としての神を享受する生活です :**

A. 新約の時代全体はヨベルの時代であり、わたしたちは解放、免除、自由の生活をします——レビ 25:11. ヨハネ 8:36。

B. 人生における三種類の労苦 (良い人になる労苦、思い煩いの労苦、苦難の労苦) から解放される唯一の道は、キリストをわたしたちの享受、満足、安息とすることです——ローマ 7:24 — 8:2. ピリピ 4:5-7. II コリント 12:9。